

神奈川山梨教会連合会だより

# か り ん

小田原教会の宮川優子先生は、昭和二十三年に小田原教会の次女としてお生まれになられました。すくすくと育たれ、社会人になってからは、商工会議所で事務のお仕事をされていました。

○教会の子弟ということ、金光教学院に行つて教師に……という話になつたりしたのではないですか。

宮川優子師(以下優子) 両親は、心の中ではそう思っていたかも知れませんが、強制するようなことは言いませんでした。その頃の私は、教会の子弟は両親に遊びに行つて貰えないし、自由がなく堅苦しい、と思つていました。教師になるとか、教会に住んで御用する、と言うことは絶対にしたくないと、思つていました。

○でも、昭和48年に前教会長の宜信先生とご結婚されてからは、小田原教会で御用されて来たのですよね。

優子 主人はその頃測量の仕事をしていて、結婚してからは教会を離れて生活をしていました。しかしそれから直ぐに、教会長をしていた父が、本部の御用をさせて

頂くことになりました、その時に父が主人に「金光教の教師になって、教会の後継になってくれないか」と言つたらいいんです。それを聞いて主人は「解りました、そうします」と、私に一言の相談もなく、決めて来たのです。

○すごい思い切つた決断ですね。でも相談してから決めて欲しいですよ。

優子 教会での生活を

川でスベツて山でコロんで……とつてきました

## Interview

第21回 宮川 優子 先生 (小田原教会)



たくなくて出たのに、まさかまた教会で生活することになるとは、思いもよらないことでした。かなりショックを受けましたが、子供のこともあるので、再び教会に住まわせて頂くことになりました。

○それは大変でしたね。

優子 当時は辛かったですね。でも、主人にとつては慣れない教会生活に加え、暫くは私の両親との同居もあり、もっと大

変だつたと思うのですが、それでも熱心に御用していました。教会での日々の御用に加え、教会の増改築、父が死んでからの奥城建設など、主人が居なければ出来なかつたと思います。

○宜信先生は、平成十九年に亡くなられたそうですね。

優子 ガンだったのですが、お医者さんに「あと一年もない」と言われていたところを五年も生きて、亡くなる数日前まで御用をしていました。

○先生が亡くなられてから、急遽優子先生が御用に立たれることになつたのですね。

優子 それからは忙し過ぎて、記憶がない程です。普段任せ切りだった神事や経理のことなど、全然解らなくて困りました。それでも今年は「金光教の教師にはならない」と言っていた長男が学院に行き、一緒に御用させて頂くことになりました。そんな中、思い返してみると、全て神様が道をつけて下さつて来たように思います。私もようやく、道を受け入れさせて頂く気持ちになりました。長男もそうだと思います。これからは人のお役に立つ御用に立たせて頂きたい、と願っています。

○ありがとうございました。

(今村 則子)

連合会の信徒部役員になって、早いもので七年目になります。初めは、神奈川教会選出の役員で信徒部長の吉田章一郎さんから委嘱されて、役員の手伝いに加えて頂き、お手伝い感覚でした。

昨年からは、私が神奈川教会の選出役員になっております。西も東もわからなかったのですが、さすがに近頃は、連合会の行事運営、会計、組織など全般に理解でき、神奈川・山梨の先生方にも名前と顔を覚えて頂きました。

一昨年の吉川信雄先生をお迎えしての一泊研修会では、須賀院先生、吉田さんのあとをついて、準備のお手伝いをさせて頂き、今年の今岡多美江先生の研修会では、関東教区信徒会主催の研修会に共催するという形であったため、そのほとんどの準備を吉岡さん始め信徒部で、切り回させて頂きました。実習？で鍛えられて、少しは役に立てるようになってきたかな、と思えてきました。

関わってみて、連合会の存在価値を改めて考えると、一つの教会ではなかなか出来ない規模のことをやれるということではないでしょうか。連合会では、教会の教話では聴けないお話が聴ける、お話の内容はもちろん、会場や聴衆の数も各教会でのそれとは比較にならないでしょう。

## 連合会の価値

神奈川教会 大塚東子

周りを見回して「こんなに金光教の信者さんがおられる」と思っただけで、元気が出るということもあるでしょうし、行事を通じて、教会の垣根を越えた気の合う信友が出来るということもありましょう。

金光教には「手続き」というものがあり、連合会など無い時代から助け合い、関わり合ってやってきたのだ、という論もあるのですが、地域的に隣り合っている者同士がより深く知り合うことは大切だと思います。親教会、出社(でやしる)という関係は、時に九州の親教会から北海道の出社とか、日本の教会がブラジルやハワイへ出社を出すということもあって、何か事ある時に即助けるということが難しい場合もあるのではないかと。下世話にも「遠くの親戚より近くの他人」と言われます。地域を同じくする連合会組織が盛んになることは、金光教にとって、大切なことではないかと考えます。

今後とも、連合会の行事(研修会、親子のつどい、女性のつどい、講話と夕食の会、地域交流会など)に積極的に参加して頂き、まず連合会を知って頂きたい、そして、提言苦言など、何でも結構ですので、ご意見をお聞かせ頂きたいと願っております。よろしくお願い致します。

## かりんの輪



### 教会会議について

丸子教会 原田武治

丸子教会では、昭和四十六年一月から教会会議を始めた。毎月一回月例祭或いは月例霊祭のあとに開催された。

この教会会議は、教務として行われたものであり、内容は初めに教団の動き、教区の動き等、「教報」「教区通信」等に掲載された内容が報告され、その後、教会会議と称して討議が行われた。

当時は、教会へお参りする事が信心であると、誰もが信じて教会に参っていた頃であったが、前教会長横山敏三先生は「教務と信心は別ものである」とか「お参りと信心は別ものである」と力説しておられ、ついでには、どのように信心をすれば良いのか、金光教の信心について理解を深める上から、まず仕組みから取り掛かった。毎回検討テーマを一つ決め、徹底的に討論し勉強したのである。

テーマの一部を紹介すると、「信心とは何か」「教会とはなにか」「お取次とは何か」「お結界とは何か」「おかげとは何か」等、テーマを理解するために、徹底的に論議しあひ、検討したのである。

## 今年度『教師部』では

教師部では、今年度の方針を「教会布教の充実活性化に向けて研鑽を進める」「立教百五十年のお年柄を迎えて、立教の意義について理解を深めるとともに、今日求められる信奉者像を明らかにする」と定められた。具体的な活動としては、教師会を4回開催（2/18・6/16・8/14・12/16）テーマである「教会の充実活性化に向けて、現在教師が問われているもの」について、発題者の話をもとに研鑽致します。

また、6月から8月の間、昨年同様連合会交流教話を実施致します。今年度新たに女性教師3名を教話講師に委嘱しました。詳細は、担当の次長安達幸則先生（相模原教会長）に別記報告して頂きます。

さらには、教師部のなかに『教師家庭婦人の会』があります。現在福田明先生（神奈川教会）が担当として御用下されておりますが、ここからさらに、教会家庭婦人のあり方を求めて行って頂くとともに、新たな会のあり方についても、検討して頂きたいと思えます。

以上、簡単に申し述べましたが、先生方の協力なくしては、部活動を推進して行くことはできません。何卒、ご理解ご協力頂きますよう、よろしくお願い致します。

教師部長 南 清孝

## 連合会内交流教話について

本教は、「話しを聞いて助かる道である」とも言われており、東京布教（首都圏布教）では、三本柱（団参、巡教、教会連合会）を理念を現す内容として推進されて来ました。教師部では、「教会布教の充実活性化」を進める上で、巡教（教話）は必要な要素と据え、昨年より交流教話を実施することに、各教会の理解と協力を頂いて8教会で実施することが出来ました。

また、本教は女性信奉者が多くいる中で、女性教師の役割は大きいものがあると思えます。しかしながら、その女性教師からお話を聞く機会が大変少ないのが現状です。

そんな状況の中で、ある教会が大祭後の教話に四十代の女性教師を招いて、教話を拝聴しました。そのお話の内容が、日常生活の実例をもとにした教話でありました。拝聴された参拝者からは、「自分たちの日常生活に則した話で、大変分かりやすく自分たちの信心に大きな刺激となった」という話を聞いたことがあります。

今年度から新たに、3名の女性教師に教話講師に加わって頂き、14名の講師により交流教話の充実を図りたいと思えます。

昨年に受講出来なかった教会も、奮って受講して頂きたいと願っております。

教師部次長 安達幸則

その当時、私は事が有る時だけ教会へ参拝していた。いわゆる「お願い信心」だけの信者であり「信心が何たるか」等は全く解らないうまま、お参りだけしていた。ある時教会に参拝した折、今までは違うことをやっていたことを知り、勧められて何も解らないまま出席していた。

その頃は、教会会議が発足して間もない頃であった。回を重ねるうちに探求心が高まり、次から次へと、疑問が湧いて来たのを覚えていた。

教会会議は、毎回二十人から二十五人出席して行われたが、当日のテーマについては、予め話の進め方を決める準備会（教会会議の）を約一週間前に行った。これは前教会長を中心に進められ、内容は本番の教会会議より中身の濃いものであったと、記憶している。話が白熱すると、夜中の十二時を回ることも度々であった。

昭和四十九年十一月より、少し形を変えて班別懇談が取り入れられた。これは従来の教会会議では、発言する機会が少なかった一般の出席者にも発言して貰うのが目的で、二、三班に分かれて班別懇談会が行われた。

現在では、当時に比べて教会会議の内容もメンバーも世代交代しているが、その頃培った信心のベースが、現在の丸子教会の信心の礎えになっていると思っております。

# 平成21年 神奈川山梨教会連合会 天地金乃神大祭日程

教会名	日 程	時 間
津久井	4月18日(土)	13時00分
甲 府	4月19日(日)	13時30分
南 甲 府	4月20日(月) 併 斎藤とくの姫30年祭	11時00分
藤 沢	4月24日(金)	11時00分
鎌 倉	4月26日(日)	13時30分
登 戸	4月26日(日)	13時00分
横 浜 西	4月26日(日)	13時30分
川 崎	4月29日(祝)	13時00分
大 明	4月29日(祝)	13時30分
子 安	5月2日(土)	13時30分
横 須 賀	5月3日(祝)	13時30分
丸 子	5月3日(祝)	13時00分
相 模 原	5月3日(祝)	14時00分
生 麦	5月3日(祝)	13時00分
鶴 見	5月11日(月)	13時00分
大 磯	5月14日(木)	13時00分
野 毛	5月16日(土)	13時30分
平 塚	5月19日(火)	13時00分
小 田 原	5月23日(土)	14時00分
神 奈 川	5月24日(日)	11時30分
武蔵小杉	5月24日(日)	11時00分

## 《お知らせ》

### 『女性のつどい』

今年も、長年に亘って、幼児教育や地域活動に携わり、大切なことを発言し続けておられる平塚教会の熊坂和枝さんにお話を伺います。

日時 7月2日(木) 11時 平塚駅改札口集合

七夕見学

13時 お話と懇談

(16時終了予定)

会場 平塚教会 及び 平塚駅周辺七夕会場  
参加費用 七夕見学から参加をされる方は  
昼食費他をご用意ください。

### 『関東信 一泊研修会』

日時 7月4日(土)～5日(日)

会場 小山グランドホテル

講師 大木光雄先生(結城教会)

\*両行事とも、詳しくは後日各教会宛に発送される、チラシをご覧ください。

### 『立教150年生神金光大神大祭』

#### 団体参拝

日程 10月3日(土)～4日(日) 直帰のコース

3日(土)～5日(月)の九州観光コースもあります。

参加費用など詳しいことは、5月に各教会に発送いたしますポスター・チラシにて。

## 〈な・が・れ〉

### 『祝 かりん30号』

子安教会 村田 光 治

立教一五〇年の大節年に、『かりん』の30号という節を密にお祝いしたいと思えます。

七年前の平成十四年に産声を上げた『かりん』。女性編集委員を中心に編集を進めたり、新たに名称の募集をしたりと、それまでの『連合会だより』とはスタイルを変えてスタートしました。でもその試みとは裏腹に、なかなか新名称は集まらなかったことを覚えています。

そこで、編集委員でアイデアを出し合い、神奈川の「か」と山梨の「梨」を「りん」と読ませて『かりん』と名付けたのが3号からでした。また、12号まではB4判でしたが、今はA4判で読み易くなりました。30号という歴史だけでも色々あります。

これからも、より身近に、より読み易く、へ向け、気になる点がありましたら、お聞かせくださればと思います。

金光教神奈川山梨教会連合会

発行者 福田 光一

横浜市神奈川区青木町六一二十五

〒221-0057 金光教神奈川教会内